

## 豊かな表現力の育成 ～伝え合う力を高める指導の研究～

### I 研究テーマについて

伝え合う力を高める指導の研究について、ここ数年取り組んできている。昨年度の研究の成果と課題を受けて、今年度も「話すこと・聞くこと」の指導の工夫について取りあげた。教材発掘や伝え合う力を高めるために有効に働く「書く場・書く内容・書いたものの活用のさせ方」などの研究も、深めていきたいと考えた。

### II 研究の内容

#### 1 「伝え合う力」についての学習会… 講師 井尻小学校 石田一元教頭先生

・「話す・聞く力」を高めるための活用教材

①ピクチャーゲーム…「自分の考えを筋道立てて話したり、聞いたりすることを促す」

②ちょう能力者ゲーム…「応答から類推し、質問力を鍛える」

・低学年から、ゲームなどの形で楽しく学習することが大切である。

#### 2 授業研究

□『あったらいいな こんなもの』… 塩山北小学校 2年生担任 中村悦子教諭

【目指す言語能力】大事なことを落とさずに話したり、聞いたりする力

・子ども達同士の対話の中で、伝えたいことを話したり、わからないことを質問したりすることによって「話し方上手」「聞き方上手」を目指すという学習活動である。

①題材選び…最初にドラえもののビデオで興味を引かせ、次に自分や周りの人が困っている時に役に立つものを考えることからスタート。家族に相談することで必要性を明確にした。また「みんなに伝えたい」という意欲にもつながった。

②2人組での対話…最初に見本として、担任とTTとの模擬対話を取り入れたことで「よりわかりやすい話し方・聞き方」が子どもたちに意識できた。また友だちが質問してきたものもつけたしていったので、発表会では相手によりわかりやすい内容になった。

③ワークシートの使用…対話の時の発表メモにもなり、また対話中の付け足しメモにもなった。発表会の元原稿にもなり、書くことで考えを深めることができた。

#### 3 実践発表

◇『みんなに知らせたいこと』… 岩手小学校 1年生担任 掛本めぐみ教諭

目指す言語能力…したことを思い出して順序よく話す力

友だちの話を聞いて質問したいことを見つける力

・夏休みの出来事の中から友だちに知らせたいことを1つ選び、描いた絵を見ながらお話をする活動である。

- ①絵で描くこと…絵がメモとしての役割を果たしていた。1年生にとっては絵で描くことで、その時のことを細かく思い出しやすい。図工との合科的な扱い。
- ②3つの場…「1人で思い出す場面」、「教師と練習する場面」、「友だちの前で話す場面」の3つの場を設定することで、全員が自分のお話に自信を持って話すことができた。
- ③黒板に提示…順序よく話すことを意識させるために「はじめ」「つぎに」「おわり」と書いておいたので、話しながら順序を意識することができた。話す文の数も増えた。

◇『インタビュー名人になろう』…

山梨小学校 5年生担任 雨宮和美教諭

目指す言語能力…目的に沿って尋ねることを整理し、相手にわかりやすく話したり、  
答えを正確に聞いたりする力

・3泊4日の漁村体験の中で実際に出会ったいろいろな人にインタビューを行う。あらかじめ相手の答えを予想し、臨機応変に対応しながら自分の知りたい知識や情報を得ていく活動である。

- ①題材選び…初めて会った人への質問や、漁村生活について知ることができるということで子どもたちの興味関心は高かった。貴重な漁村体験と国語の教材の「インタビュー名人」を結びつけた実践になった。
- ②インタビュー体験…知らない人にインタビューするということで緊張した子が多かったが、そのことがより集中したインタビューになった。書くことに頼りすぎず、その場での多様なやりとりもあった。
- ③ワークシートの活用…前もってワークシートで答えの予想をし、それに対しての次の質問を考えていった。中には臨機応変に考えて質問する子もいた。

## II 成果と課題

- 見本として実際に教師が話し合いのやり方を「模擬対話」として見せたことは、子どもたちにもわかりやすく、次の活動への意識や力を高めた。有効性が確認できた。
- ワークシートが、子どもたちの話す力をつけるための自信や手助けになることが確認できた。一つの財産として活用していきたい。
- 学習会が実践的な内容で、伝え合う力の基礎を育てることの大切さと方法を学ぶことができた。活用教材として子どもだけでなく職員間でも役立った。
- 授業研究・実践発表共に、まずは子どもの「伝えたい」という心情を育てるための課題設定が大切だということが確認できた。また一方的でなく「話す←聞く、質問←応答」という相方向になってきたこともよかった。

次年度にむけては、

- ・伝え合う力を高めるために、言葉の力をつけるためにどうするか。
  - ・同一テーマで3年経過ということで再検討もよいが、続けるとしたら
    - ①子どもたちの意欲を喚起するような話題の発掘と提示のしかた
    - ②(受け身でない、子どもに寄りそう)ワークシートの内容の検討
- 等の意見が出された。

(部長 八巻 恵子)